

37 グアテマラ

地下水開発事業



本事業により建設された深井戸

[借款概要]

| | |
|---------|--------------------------|
| 承諾額/実行額 | 4,711 百万円 / 4,465 百万円 |
| 借款契約調印 | 1992 年 6 月 |
| 借款契約条件 | 金利 2.7%、返済 30 年（据置 10 年） |
| 貸付完了 | 2000 年 8 月 |

[事業概要]

グアテマラ首都圏において、上水供給マスター・プラン第一期緊急計画に基づき、新たな地下水水源の開発を行い、市水道公社(EMPAGUA)の給水能力を高め、同首都圏の経済・社会活動の基盤を整備するもの。

[評価結果]

本事業により、34の深井戸建設と附帯施設の設置、及び19の既存井戸の修復が行われた。関係者間の合意形成・調整、用地取得等の長期化が原因となり、事業実施は6年以上遅延した。グアテマラ市の給水率は、1990年時点では54%であったが、1997年から2001年で77%から89%へ増加した。また、給水能力は計画値1.0m³/秒に対し1.14m³/秒を達成し、給水時間は9.1時間/日増加している。事業実施前には給水場まで水汲みに行っていた貧困層は、本事業にて各戸給水が実現したことにより、安全な水へのアクセスが向上し、水汲み作業に要する時間が削減された。

なお、グアテマラにおいては、地下水への依存が高くなったことから、地下水の枯渇対策のための法案が議論されている。水道料金の設定が低く、実施機関の財務状況は安定しているとは言えないが、機材の維持管理に関しては、予算が優先的に配分され、専門家により適切に行われている。